

2020年3月19日

ASIAGAP/JGAP 認証農場各位

新型コロナウイルス感染症への対応について（第2報）

日本GAP協会事務局長 荻野 宏

新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、3月10日にお送りしたメールではASIAGAP/JGAP 基準書の関連する管理点について技術的な説明をさせて頂いたところです。今回は農場の皆さまに特に注意頂きたいポイントや、農林水産省から先週末に発表された新しい情報についてお伝えします。

新型コロナウイルス感染症は、食品を介して感染した事例は報告がありません。

恐れなければならないのは、皆さまや従業員が感染して営農の継続が危ぶまれる状況となることです。このような感染を防ぐための基本的な注意点は次の通りです。

<感染を防ぐための基本的な注意点>

- ① 作業者の健康チェックを行い、感染者に作業を行わせない(ASIAGAP/JGAP 農産 13.1、JGAP 畜産 15.1)
- ② こまめな手洗いや咳エチケットの徹底(ASIAGAP/JGAP 農産 13.2、JGAP 畜産 15.2)
- ③ 訪問者に対しても同様の対応を徹底する(ASIAGAP11.9、JGAP 畜産 13.10)
- ④ 感染の可能性が高いところに行かないようにする

具体的には下記の取組例などを参考に、各農場の実情に合わせて対応して下さい。

<取組例>

(1) 農場での対応

- ・ 発熱などの症状がある時は休む。家族に症状がある場合は職場に相談する。そのための連絡体制を整える。
 - ・ 作業の前後、トイレの使用後、事務所や選果場などの施設に入り仕事をする時などは、必ず手洗い、手指の消毒をする。
 - ・ ハウスや作業場などの施設内で作業をする場合は、できる限りマスクを着用する。
 - ・ 事務所や施設の換気を行う。
 - ・ 部外者の立ち入りを最小限にする。手指の消毒など従業員と同じ対応を徹底する。
- (下記の農林水産省のウェブサイトを参考に万一感染者が発生した場合の対応を決める)

(2) 生活面の対応

- ・ 手洗いを食事前、帰宅時などに行う。
- ・ アルコールによる手指の消毒を屋内に入るときに行う。
- ・ 体調管理に気を付け、暴飲暴食を控えてよく睡眠をとる。
- ・ 不特定多数の人混み、換気の悪い部屋での会合、混んだ密室内での会議やパーティなどを避ける。

<農林水産省ウェブサイトについて>

農林水産省のウェブサイトには、新型コロナウイルスについて、という特設ページに、先週 3 月 13 日に「農業における新型コロナウイルス感染者が発生したときの対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」が掲載されました。

これは感染予防対策に対する詳細な内容に加え、万一、農場内に感染者が発生した際の業務の継続に係る留意点も記載されています。ぜひご一読下さい。

(農林水産省ウェブサイト「新型コロナウイルス感染症について」)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

(農林水産省ウェブサイト「新型コロナウイルス感染者発生時の対応・業務継続に関するガイドライン」)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/ncv_guideline.html

<前回のメールの補足>

前回のメールでは、アルコール噴霧だけではウイルスが減少しないという結果もあるとお知らせしましたが、それはアルコールに対する抵抗性が高いノロウイルスのようなものもあるため、コロナウイルスにはアルコール消毒は効果があります。そのようなことから一般的な感染症の対策は、まず手洗いが基本となります。

また、ご質問や情報などあれば、いつでも私どもにお寄せ下さい。認証農場の皆さまのために出来るだけのお手伝いをして参ります。

ASIAGAP/JGAP の認証は、衛生管理を普段からしっかりと行っている信頼の目印です。新型コロナウイルス感染症に対する正しい理解のもと、自信をもって取引先等に対応して下さい。心より応援しております。

(以上)